

## 令和元年度山城南地区行政相談委員自主研修会に参加して

令和元年 2 月 14 日（金）木津川市役所において「令和元年度山城南地区行政相談委員自主研修会」が実施されました。

最初に杉嶋山城南地区会長より、1 月 30 日に開かれた木津川市南加茂台小学校の出前講座についてのお話と、ようやく山城南地区行政委員が揃ったとの報告がありました。

河井木津川市長から、歓迎の言葉と行政がうまく進められるよう力をいただいているとねぎらっていただきました。



挨拶される杉嶋山城南地区会長



挨拶される 河井木津川市長

廣田京都行政監視行政相談センター所長から、直前に開かれた京都行政相談委員研修会のことと本日の研修会を実りあるものとしましようとお挨拶をいただきました。



廣田京都行政監視行政相談センター所長



研修の様子

続いて廣田センター所長から「災害対策の現状と課題」～避難所等を中心として～と題して講演をいただきました。

- ① 南海トラフは 30 年以内に来ると言われている。明日来るかもしれない。日常、地域の人々とともに災害時に備える。非難情報を正確に知り、警戒レベルに応じて避難行動をとる。
- ② 京都における近年の災害（平成 30 年 6 月 18 日大阪北部地震、平成 30 年 7 月 5～8 日 7 月豪雨、平成 30 年 9 月 4～10 日台風 21 号、平成 30 年 9 月 29 日～10 月 1 日台風 24 号）の被災状況を数字や写真の資料をもとに報告。
- ③ 災害の種類  
非難情報の発令にともない必要な行動をとる。  
警戒レベルに基づく避難行動をする。  
避難所と避難場所の違い（指定避難所以外での避難が増えている。公園・スーパーの駐車場でのテント泊・在宅避難等）
- ④ 「避難所等の指定・運営等に関する実態調査」の結果の概要から学ぶ。
  - ・ 避難所の周知
  - ・ 指定避難所の円滑な運営
  - ・ 避難所外の避難者の対策等具体的な参考事例として丁寧に示された。

自然災害は止められないが減災はできる。

まずは住んでいる地域で地域の方々と出来る事を一つひとつ積み重ねていかなければと心に刻みました。

お昼は、旬菜カフェ「あいほうす鹿背山」で地元野菜をふんだんに使った特製お弁当をいただきながら和やかに歓談しました。



昼食会の様子



環境の森きづがわにて

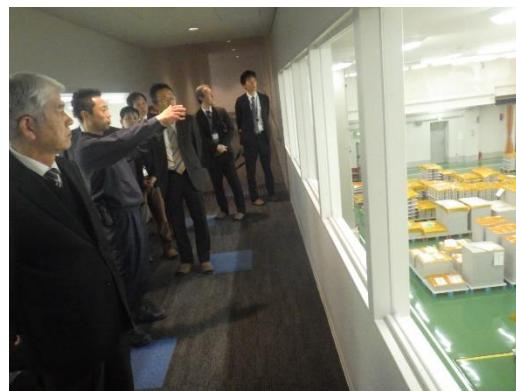
午後からは、「環境の森きづがわ」と「アサヒ印刷(株)京都クリエイティブパーク」をお訪ねし担当の方から丁寧な説明を受けました。

環境の森きづがわでは公害防止（排ガス）の処理、エネルギーや排水の有効利用のための設備は新しい施設ならではのと思いました。



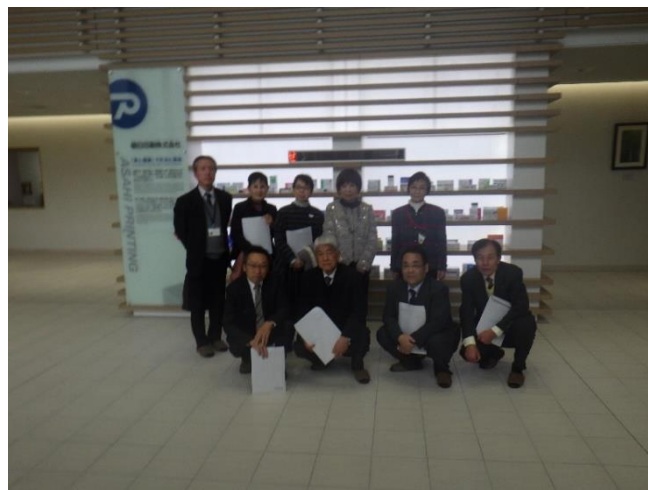
環境の森きづがわ見学会の様子

アサヒ印刷は有名な化粧品や薬のパッケージを多く印刷されており、なかなか見学させていただけない施設とのことでした。



アサヒ印刷見学会の様子

京都行政相談センターや木津川市の担当の方々の全面的なお力添えをいただき本年度も自主研修会を無事終えることができました。



また、木津川市の行政相談委員の皆様、お世話になりありがとうございました。次年度は精華町の予定です。お待ちしております。

精華町

杉嶋 茂孝  
田中 茂子